

**指導者のための情報紙**

**スポーツ少年団** **トボーリ、ともだち仲間たち** **No.17**

URL : <http://www.japan-sports.or.jp/saitamaken>

彩の国 発行: 財団法人 埼玉県体育協会 埼玉県スポーツ少年団 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-14-1 埼玉県自治会館3F



第25回埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会が、2月11日、朝霞市陸上競技場周辺をコースとして開催されました。前日まで天候の心配がありましたが、当日は…心配なし…。

今回の参加チームは、男子56チーム、女子43チームで、子どもたちは朝から元気一杯！ ふだんはサッカーやバスケットなどいろいろなスポーツ活動をしている団員たちが1チーム6人で力を合わせて頑張りました。結果は以下のとおりです。

#### <男子の部>

- 1位 FC宗岡 (36'53"大会新)
- 2位 上尾富士見サッカースポーツ少年団 (36'54"大会新)
- 3位 ファイトマラソン (37'06")
- 4位 戸塚フットボールクラブジュニア (37'41")

- 5位 城南クラブ (37'50")
- 6位 朝霞いずみ (39'07")
- 7位 白岡南サッカー (39'13")
- 8位 久喜少年野球クラブ (39'22")

以下、着順

若松キッカーズ／レツアサカサッカースポーツ少年団／白南ボーイズ／新座スカイファイターズ／妻沼ホーマーズ／三保タイガース／朝霞台ユニオンズ／上高野少年サッカー／青葉エンゼルス／横瀬武甲スポーツ少年団／レツドラゴン／川口ラグビースクール／新宿ミニバス／妻沼スラッガーズ／東松山陸上スポーツ少年団／柏葉ミニバスケットボールクラブ／浦和中尾サッカースポーツ少年団／アズマフットボールクラブ／三保谷スポーツ少年団／三原FC／新座新開スポーツ少年団／加茂川ワイルドダ

この情報紙は各単位団へ3部配布しています。指導者・母集団に回覧しましょう。



男子の部スタート



女子の部スタート

ツクス／石神スポーツ少年団／蓮田ジャイアンツ／青木中央少年サッカーチーム／志木バーズ男子ミニバスケットボールスポーツ少年団／浦和ジュニアアスレチックスポーツ少年団／吉見西ウイングス／太陽フェニックススポーツ少年団／朝霞栄／朝霞フレンドリーズ／志木チエリーズ／高麗川フェニックス／常盤スポーツ少年団／朝霞サンズスポーツ少年団／大久保スポーツ少年団／黒須ドルフィンズ／常盤少年野球クラブ／大利根東オーシャンズ／浦和パワーズスポーツ少年団／FC和光キッカーズ／KOBATAサッカー／JACアサカ／朝志ヶ丘サッカースポーツ少年団／越生エンドレスミニバスケットボール／三室ホークス／仲本ソフトボール少年団／西公民館ジュニアバレーボールスポーツ少年団

#### ～区間賞～

1区：服部純也（ファイトマラソン） 2区：安孫子広弥（上尾富士見サッカースポーツ少年団） 3区：増本寛（ファイトマラソン） 4区：出田智也（FC宗岡） 5区：物見達也（上尾富士見サッカースポーツ少年団） 6区：瀬賀悟（上尾富士見サッカースポーツ少年団）

#### ＜女子の部＞

- 1位 大和田ミニバスケットボールスポーツ少年団 (39'35")
- 2位 ファイトマラソン (39'50")
- 3位 柏葉バスケットボールクラブ (40'02")
- 4位 新座新開スポーツ少年団 (40'38")
- 5位 浦和ジュニアアスレチックスポーツ少年団 (40'59")
- 6位 西武エアーズ (41'07")
- 7位 吹上ミニバスケットボールクラブ (41'12")
- 8位 高麗川フェニックス (41'19")

以下、着順

城南クラブ／青木中央ミニバスケット／石神スポーツ少年団／鶴ヶ島南ミニバスケット／東川口女子ミニバスケットボールクラブ／志木チエリーズ／スカイフラワーズ／東松山陸上スポーツ少年団／志木宗

岡ミニバスケットボールスポーツ少年団／志木スワンズミニバスケットボールスポーツ少年団／朝霞サンズスポーツ少年団／越生エンドレスミニバス／西少女ソフトクラブ／植水ラッツミニバスケットボール／上尾芝川ミニバスケットボールスポーツ少年団／高萩エンジェルス／三光グリーンシスターズ／与野南女子ミニバスケットボールスポーツ少年団／西公民館ジュニアバレーボールスポーツ少年団／吉見西ウイングス／小川町陸上競技スポーツ少年団／朝霞台ユニオンズ／礼羽レイカーズミニバスケットボールスポーツ少年団／朝霞ジュニアバレーボールクラブ／朝霞フレンドリーズ／JACアサカ／芝スポーツ少年団／太陽フェニックススポーツ少年団／幸手東ミニバスケットボール／不動岡プリンセス／八ヶ保ジュニアバレーボール／常盤スポーツ少年団／志木バーズミニバスケットボール／BAGSU／久喜ミニバスケットボール

#### ～区間賞～

1区：小山那奈子（ファイトマラソン） 2区：矢作佳南子（ファイトマラソン） 3区：渡辺麻実（大和田ミニバスケットボールスポーツ少年団） 4区：日名泉澄（新座新開スポーツ少年団） 5区：田村実彩（大和田ミニバスケットボールスポーツ少年団） 6区：神田萌子（新座新開スポーツ少年団）／飯塚歩夢（柏葉バスケットボールクラブ）



## 平成19年度埼玉県スポーツ少年団 指導者現地研修会報告

平成19年度の埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修会は平成20年1月26・27日、栃木県の鬼怒川温泉「ホテルニュー岡部」に県下から指導者約260名が参加して開催されました。

26日（土）14時から始まった全体会では、藤沼本部長のあいさつに続き、各専門委員会から活動報告がありました。

藤沼本部長のあいさつの中では、昨年、試合帰りのマイクロバスから団員が転落して死亡した事故の報告もあり、安全対策には十分配慮するよう喚起を促されました。

専門委員会報告の後に行われた講演会では「単位団における団員増加策」と題して、鴻巣空手道スポーツ少年団の清水岩夫氏から「鴻巣空手道クラブの中の鴻巣空手道スポーツ少年団としての一体化」、また原市場スポーツ少年団の浅野隆司氏からは、「ミニバスケット部会では中学生を取り込んだ活動」についての事例が話されました。

その後、種目別の分科会に分かれ、20年度の事業などについて協議がなされました。

翌27日（日）の全体会では、平成国際大学スポーツ科学研究所教授の戸狩晴彦氏より「発育期の体力の特徴と向上策」についての講演がありました。

### ■■■専門委員会報告■■■

#### 育成広報委員会

- ・情報紙「スポーツともだち仲間たち」の企画・編集 年3回発行
- ・埼玉県スポーツ少年団表彰式・日本スポーツ少年団顕彰式の企画・実施
- ・20年度は、団・指導者・団員を対象とした実態調査の実施を予定
- ・「スポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブ」の冊子を発行



#### 埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修会とは

「県内市町村スポーツ少年団指導者の参加を求めて、種目別大会の今後の運営方法について協議するとともに、相互の情報交換を通してスポーツ少年団の健全な育成をはかる」という趣旨で、(財)埼玉県体育協会埼玉県スポーツ少年団が主催しているものです。

平成20年度は、21年1月24・25日に栃木県鬼怒川温泉で開催を予定しています。

参加対象者は（ア）市町村種目別代表者（各種目2名以内）、（イ）市町村本部役員・事務担当者（4名以内）、（ウ）その他、市町村本部長が認めた参加希望者となっています。指導者の方はいちどは参加してみてください。

#### 事業委員会

- ・各種大会の開催要項の統一化
- ・大会開催補助金の額に関する検討
- ・ベンチ構成員の有資格に関する検討
- ・種目別代表者会議に関して
- ・第6回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会の準備（21年3月、熊谷市、行田市、深谷市）
- ・関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の準備（21年7月、川越市さいたま市、川口市、久喜市、上尾市）

#### 指導者委員会

- ・認定育成員研修会の実施（5月、上尾スポ研）
- ・体力テスト判定員養成講習会の実施（8月23日、上尾スポ研）
- ・現地研修会の講演テーマ検討

#### リーダー育成委員会

- ・ジュニアリーダースクールについて検討  
前期8月22日～24日  
後期12月20日～22日
- ・中学生以上の団員の登録状況調査
- ・今後の主なリーダー協力事業とPR

#### 指導者協議会

- ・19年度関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会を開催
- ・認定員再研修について県本部に答申

#### 認定員再研修検討プロジェクト会議

- ・市町村の本部、指導者協議会の現状を把握するためアンケート調査の実施
- ・モデル市町村で認定員再研修の試行の検討

## 平成20年度種目別大会計画

### ■■■軟式野球■■■

第27回埼玉県スポーツ少年団夏季小学生軟式野球交流大会

期日 6月15日・21日・22日

会場 飯能市市民球場 他

第33回埼玉県スポーツ少年団小学生軟式野球交流大会

期日 10月19日・26日・11月8日

会場 県営大宮・第二公園・吉見町総合運動公園

出場 32チーム

第31回中学生軟式野球交流大会

期日 8月3日・9日・10日

会場 吉見町

第4回埼玉県スポーツ少年団女子団員交流大会

期日 11月24日

会場 未定

### ■■■サッカー■■■

第37回埼玉県サッカー少年団大会

期日 11月9日・16日・23日

会場 埼玉スタジアム2002(第2、第3グラウンド)

出場 各4地区を勝ち抜いた32チームによるトーナメント

### ナメント大会

#### ■■■ソフトボール■■■

第31回ソフトボール中央大会

期日 8月23日・24日

会場 加須市

出場 男女共 16チームのトーナメント方式  
各地区より選出(チーム数)

東部地区 男子 2 女子 4

西部地区 男子 0 女子 4

南部地区 男子 10 女子 5

北部地区 男子 4 女子 3

### ■■■空手道■■■

第24回空手道交流大会

期日 9月21日

会場 県立武道館

出場 1000名 各ブロック選出

個人形 男女 小学1年生～中学3年生

個人組手 男女 小学3年生～中学3年生

### ■■■バレーボール■■■

第6回全国スポーツ少年団バレー交流大会埼玉県決勝大会

期日 1月17日・18日

会場 さいたま市記念総合体育館

## ジュニアリーダースクールが開催されました

前期：平成19年8月24日(金)～26日(日)

県立スポーツ研修センター

後期：平成19年12月25日(火)・26日(水)

中学生の団員を対象に32名が参加して行われた、平成19年度ジュニアリーダースクールが終了しました。このスクールは、夏休みを利用した2泊3日の前期と、冬休みを利用した1泊2日の後期の2回に分けて行われているもので、「スポーツ少年団の知識を身につけ、リーダーとしての意識をもつ」などのテーマを設定し開催されました。

前期のアンケート調査では、スクールの参加動機に「団の指導者にすすめられて」と回答した団員が多く、自発的な参加が少ないということで、少し寂しく思いましたが、終了後の感想には「スポーツ少年団のことがよくわかった」「参加してよかった」「自分も先輩のようなリーダーになりたい」という答えが多くあり、単位団などの指導者が少し背中を押してあげることによって、なんとなく参加した団員が、スポーツ少年団に興味をもち、リーダーになりたいという気持ちを育むという、リーダー養成にとってキーポイントになるたいせつな研修会であることを再確認できました。

団に所属している子どもたちが、中学・高校・

大学などと長く地域の団で活動していくことがスポーツ少年団の目的でもあります。リーダースクールはまた来年も開催いたしますので、ぜひ皆さんの団で中学生の団員がおりましたら参加をすすめていただきたいと思います。

### 参加者の声(アンケートより)

- 「ぼくは、スポーツ少年団の先生に行なと言われて仕方なく参加しましたが、班活動や係活動などの中でいろいろな友だちができるとても楽しくなり、後期の時はとても楽しみにしていました。そして、自分がリーダーとしての自覚をもつということが、だんだんわかってきました。これからは他の団員のお手本になるような、また、あこがれになるようなリーダーを目指していきたいです。」(中学1年生・男子)
- 「自分が思っていた以上に貴重な体験ばかりでした。新しい友だちもたくさんてきて、このスクーリングに参加して本当によかったです。リーダーが私たちをまとめている姿を見ていると、私も立派なリーダーになりたいと思いました。」(中学2年生・女子)
- 「非常に印象に残ったのは、班付きのリーダーと年が1・2年しか違わなかったことです。1・2年で班付きのようにしっかりとしたリーダーになるためには知識等もありますが、一番は意識の違いだと思います。是非とも来年もリーダーとして参加したいです。」(中学3年生・男子)

第27回関東ブロックスポーツ少年団バレーボール大会埼玉県大会

期日 7月5日・6日

会場 熊谷スポーツ文化公園体育館・所沢市民体育馆

第5回埼玉県スポーツ少年団中学生交流大会

期日 8月24日

会場 熊谷スポーツ文化公園体育館

第3回埼玉県スポーツ少年団キッズ交流大会

期日 8月9日・10日

会場 熊谷スポーツ文化公園体育館

### ■■■バスケットボール■■■

第27回埼玉県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会

期日 7月5日・6日

会場 越谷市総合体育馆

第9回埼玉県スポーツ少年団ジュニアリーダーバスケットボール交流大会

期日 7月27日

会場 さいたま市記念総合体育馆

### ■■■柔道■■■

第30回埼玉県スポーツ少年団柔道親善大会

期日 8月31日

会場 県立武道館

出場 1200名

### ■■■複合■■■

第28回複合種目大会

期日 9月6日・7日

会場 未定

出場 200名

### ■■■ソフトテニス■■■

第29回埼玉県スポーツ少年団ソフトテニス交流大会

・中央大会(小学生)

期日 8月23日

会場 熊谷市彩の国熊谷ドーム多目的運動場

・中央大会(中学生)

期日 8月16日

会場 熊谷市運動公園テニスコート

・南部地区交流大会

期日 7月6日

会場 さいたま市天沼公園テニスコート

・北部地区交流大会

期日 7月12日

会場 小川町総合運動場テニスコート

### ■■■バドミントン■■■

第27回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(団体戦)

期日 12月6日

会場 久喜市総合体育馆

第15回埼玉県スポーツ少年団バドミントン(ダブルス)大会

期日 2月28日

会場 蓼田市総合体育馆

### ■■■剣道■■■

第32回埼玉県スポーツ少年団剣道交流大会

期日 8月31日

会場 蓼田市

第31回全国スポーツ少年団剣道交流大会選手選考会

期日 12月14日

会場 吉見町

### ■■■駅伝■■■

第26回埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会

期日 2月11日

会場 朝霞市陸上競技場

## 平成19年度埼玉県スポーツ少年団 ～ブロック本部長会議報告～

昨年11月から12月にかけて開催された、平成19年度埼玉県スポーツ少年団ブロック本部長会議の席上で話し合われた中から、各市町本部における現況や団員増加への取り組み、今後の課題などについて抜粋して紹介します。

- ▶ 市リーダー会、消滅の危機。剣道の団員激減。総合型については現在様子を見ている<春日部市>。
- ▶ サッカーの団に問題多数<越谷市>。
- ▶ 都市開発により人口増加が見込まれるため、来年度は団員の増加が期待できる。サポーター制度の導入、2・3年後を目途に。総合型と少年団の関係を研究<三郷市>。
- ▶ 空手の団が増<加須市>。

- ▶ 町内児童に対し、20%が登録。野球5団あるが、うち一つは(団員数により)紅白戦の実施ができない。ミニバスの団員は町内だけではなく、近隣のバスケットの単位団が無いところから登録者あり。クラブ、特にサッカーだが、月謝制で親の負担が全くないので小学校低学年はそちらに流れる傾向あり<大利根町>。
- ▶ 団員は微増であるが、増加策は引き続き実施<蓮田市>。
- ▶ 団員が20年前と比べ、50%減少。認知度をあげるため、アピールの場を増加するよう検討<幸手市>。
- ▶ 現在3団が総合型として活動・登録。当初は団の統合からはじめたが、各団ごとに工夫を凝らし、現在団員は増加傾向<白岡町>。

- ▶ 今年度、日独同時交流の受け入れの実施と、30周年記念式典で町長・教育長・各小学校長にPR。団員の増加策には各団の努力が必要<宮代町>。
- ▶ マラソン大会・駅伝大会実施(1700名参加)。リーダーの育成に力を入れる<所沢市>。
- ▶ 7つの種目別部会と5つの専門委員会で活動。専門委員会は主に研修科の実施。団員の減少有。特に山間部で顕著に現れてきている<飯能市>。
- ▶ 市本部事業として運動会・マラソン大会の実施。運動会は26回目、マラソンは16回目(4年生以上・800名参加)<狭山市>。
- ▶ 特に剣道・空手。剣道については、町道場で活動。登録料の負担を理由に登録をしない。空手道については、試合に参加する目的で登録をしているため、市スポ少行事に非協力的<坂戸市>。
- ▶ 市内スポーツ少年団は全てが複合団として活動。現在は、団員の減少から団の統合などを検討中。同時に、今までにない種目等の登録希望あり。ここ数年来、市の委託を受け韓国との交流を実施<日高市>。
- ▶ 自然体の活動。子供の体力作りを各団に依頼。団員数は少子化の割りに微増。リーダーは減少。野球が近隣市町村との交流大会実施(40チーム参加)。チビッ子駅伝の開催。町の体育協会が協力的<越生町>。
- ▶ 今年度、自主運営のクラブ(月謝制)が登録希望。必要書類(決算書等)の提出がされないため、登録させなかつたところ、北部地区で登録。市本部事業として、母集団研修・駅伝大会・指導者研修会の実施<東松山市>。
- ▶ 町長・小学校長との懇親会開催。児童数1000人を割る。町行事には全面協力。町政が協力的<嵐山町>。
- ▶ 部会等特に無。以前は4年生以上の登録であったが、現在は低学年を含んだ登録数。運動会開催時、低学年だと実施できる種目が限定される。町本部事業として、運動会・駅伝大会・クリーンキャンペーン(清掃活動)の実施<吉見町>。
- ▶ 人口は増加傾向だが、団員は減少傾向。指導者増。市内小学校101校、1校あたりの平均団員100名程度。地域差有り。認定員、例年200名程度受講、資格保有率60%弱<さいたま市>。
- ▶ 創立30周年を機に、団員の社会奉仕活動として、ブルタブ収集。現在、車いす13台寄贈。サッカーの団に問題多數<草加市>。
- ▶ 団員減少傾向。5年間で約100名の減少。今後の課題として女子団員の増加。認定員保有率、55%。今後増加計画<蕨市>。
- ▶ 今年度24回目を迎える県スポ少駅伝。3月に創立30周年記念式典。市本部事業として、体力テスト実施。同日に隔年で交通安全指導と親子レクの開催<朝霞市>。
- ▶ 市内有志企業の協力を得、広報誌の発行<志木市>。

### 会場と参加者

東部	春日部市 春日部市商工振興センター 11月18日(日) 16:00~
	8市5町 21名(加須市・大利根町・春日部市・越谷市・久喜市・八潮市・三郷市・蓮田市・幸手市・白岡町・宮代町・鷺宮町・杉戸町)
西部	所沢市 所沢市民体育館 11月11日(日) 17:00~
	6市3町 17名(所沢市・飯能市・狭山市・坂戸市・日高市・越生町・東松山市・嵐山町・吉見町)
南部	川口市 キュボ・ラ 11月17日(土) 17:00~
	12市1町 19名(さいたま市・川口市・草加市・蕨市・朝霞市・志木市・新座市・和光市・鴻巣市・上尾市・桶川市・北本市・伊奈町)
北部	熊谷市 新和食 池端 12月1日(土) 17:00~
	2市4町 10名(皆野町・上里町・神川町・熊谷市・深谷市・寄居町)

- ▶ 団員微増。駅伝大会の開催<新座市>。
- ▶ 国・県登録後、活動者増。市体協事業のジュニア駅伝へ全団参加。母集団の充実が今後の課題。市本部事業として、共同募金・スポーツ大会・体力テストの実施。親子レクの開催<和光市>。
- ▶ 合併後3年経過。組織の充実<鴻巣市>。
- ▶ 野球の団、1団増。来年度、市政50周年、スポ少の大会の冠に<上尾市>。
- ▶ バレーの団が自然消滅。新規団としてバスケット<桶川市>。
- ▶ 指導者70名増。新規団(バスケット)。30周年事業検討中。駅伝大会を低学年・高学年を分けての実施、450名参加。市本部事業として市内清掃活動の実施<北本市>。
- ▶ 水泳の団員が多い。ホッケーの団があつたが、現在は休部中。昨年から駅伝大会の実施<皆野町>。
- ▶ サッカーの団が統合。硬式テニスの単位団があり、今まででは私営のテニス場を利用し活動。そこが今年度より使用できなくなり、町営のソフトテニス場2面分を硬式用に改修し使用してもらう<上里町>。
- ▶ バレーの団が1つ消滅<神川町>。
- ▶ 年間に市本部事業として5~6事業を実施。合併後、なかなか協力体制に難しいものがあったが、ここにきて少しずつ協力体制ができてきている<熊谷市>。
- ▶ 合併後、多々問題があるが、特に指導者研修会の参加者が減少している。市内全団対象のレク大会、今年度から開催する予定だったが、会場の関係で中止。来年度からの開催<深谷市>。
- ▶ 陸上の団が1増。認定員養成講習会を毎年開催。町内全団を対象にレク大会を実施しているが、不参加団があるので、アンケート調査等実施<寄居町>。



## 埼玉県内の 総合型地域スポーツクラブの現状

県内では、既に28の総合型地域スポーツクラブが設立され、現在20クラブ以上が設立準備中です。クラブの活動内容は、多種目、多世代、多志向で行われ、スポーツのみならず、文化活動やまちづくりなどに取り組んでいるクラブもあります。(表1)

クラブの規模は、会員数1000名以上のクラブから100名程度で活動しているクラブまで大小様々です。また、形態については、地域が一体となって取り組んでいるクラブやスポーツ少年団を基盤に単一種目

から多世代化を図り、そして多種目化へと発展しているクラブ、まちづくりの観点から発展したクラブなど多種多様です。

現時点では、まだ多くのクラブが設立初期段階のため、急速な発展には至っていませんが、各クラブとも会員ニーズに対して的確な対応や資金調達などの経営努力を積極的に行ってています。各クラブの今後の発展が期待されています。

埼玉県スポーツ少年団育成広報委員会と県体育協会クラブ育成アドバイザーの共同により、「スポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブ」の冊子を作成しました。各単位団へ2部配布させていただいておりますが、追加でご希望がございましたら県本部までお問い合わせください。また、総合型地域スポーツクラブの取り組みに関する質問等もございましたらお気軽にお問い合わせいただければ幸いです。

表1 県内総合型地域スポーツクラブ（ふあいぶるクラブ）一覧

クラブ名	所在地
1 所沢市西地区総合型地域スポーツクラブ	所沢市
2 NPO法人志木総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ	志木市
3 NPO法人伊奈総合型地域スポーツクラブ	伊奈町
4 芳野スポーツクラブ	川越市
5 篠津小総合クラブ	白岡町
6 NPO法人彩の国さいたま総合型地域スポーツクラブ・フォルテ	上尾市
7 NPO法人神流川スポーツクラブ	本庄市
8 NPO法人フィジカルコミュニケーション	さいたま市
9 コスモススポーツクラブ	鶴ヶ島市
10 NPO法人ふあいぶるクラブ白鶴	さいたま市
11 NPO法人スポーツ・サンクチュアリ・川口	川口市
12 NPO法人ゴールドルーツスポーツクラブ	上里町
13 NPO法人あさひスポーツ・文化クラブ	北本市
14 NPO法人スポーツコミュニティ久喜東	久喜市
15 NPO法人秩父地域スポーツクラブ	秩父市
16 NPO法人ユニオンスポーツクラブ	桶川市
17 NPO法人浦和スポーツクラブ	さいたま市
18 北浦和総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブふれあいプレイランド	さいたま市
19 熊谷リリーズ・ふあいぶるクラブ	熊谷市
20 リリー・アスレチック・クラブ	川口市
21 ピースふあいぶるクラブ	熊谷市
22 鴻巣プレス総合型スポーツクラブ	鴻巣市
23 クラブ幸手	幸手市
24 見沼スポーツクラブ	さいたま市
25 上尾東スポーツクラブ	上尾市
26 かさはらいきいきスポーツクラブ	鴻巣市
27 みずわスポーツクラブ	北川辺町
28 NPO法人さいたまスポーツクラブ	さいたま市

(平成19年4月現在 埼玉県広域スポーツセンターふあいぶる調べ)

※「ふあいぶるクラブ」とは、ふあいぶるクラブの設立要件を満たしているクラブを埼玉県における総合型地域スポーツクラブと認知しています。詳細については、インターネットよりふあいぶるネット (<http://fivul.pref.saitama.jp>) をご参照ください。

# まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役

## 第38回関東ブロックスポーツ少年大会

本年8月、埼玉県において、関東ブロックスポーツ少年大会が開催されます。

・開催期日 平成20年8月8日(金)～10日(日)

2泊3日

・会場 名栗げんきプラザ

会期中は各班ごとにリーダーを中心にプログラムに沿った活動が予定されています。他都県の団員と交流し、団体生活をとおし友情・仲間を大切にする貴重な体験をする機会です。県内の多くの団員の参加を待っています。

関東各都県から大勢の参加者が来ますので、開催に当たっては県内の指導者の方、またリーダー会の協力が必要です。よろしくお願いします。

## 県スポ少表彰式

12月8日、さいたま市浦和区の埼玉会館で、平成19年度の日本スポーツ少年団顕彰伝達式および埼玉県スポーツ少年団表彰授与式が開催されました。

式典は午後4時に始まり、まず日本スポーツ少年団顕彰の2団と13人に藤沼本部長から賞状(盾)が伝達され、その後、東西南北各地区の受賞者代表に埼玉県スポーツ少年団表彰の賞状(盾)が手渡されました。

式典のあと約1時間、祝賀会が催され長年にわたる活躍に対する慰労と、今後の活躍を誓い合いました。(受賞団および受賞者は本紙No.16を参照)

## 優勝カップは「だるま」

越谷市で行われたサッカー大会を紹介します

小学3年生のサッカー大会に、越谷だるま組合の協力で大きな「だるま」をカップ(?)として提供いただきました。子供たちが3年生の後半になり、サッカーのおもしろさ、また練習も辛くなってくることだと思います。そこでだるまさんのように辛抱強く頑張っていただく願いが込められています。



## 育成広報委員会からのお知らせ スポーツ少年団と 総合型地域スポーツクラブ の冊子をご活用ください

総合型地域スポーツクラブは、これから地域スポーツ振興の柱となり、スポーツ少年団発展のカギを握ることは間違いないと思われます。

しかしながら、各地域で活動する指導者の方々から「スポーツ少年団と総合型クラブとの関係をどのようにとらえれば

いのか」「スポーツ少年団とは切り離して考えて対応していくべきではないか」「総合型クラブそのものを理解するための具体的な情報が不足している」など不安や情報提供の必要性について多くの意見が見受けられました。

そうしたことから、県本部では昨年12月、各指導者の皆さんに今後の団活動を「広い目で、長い目で」とらえ、総合型クラブへの理解を深めていただきため、Q&A方式を主体とした「スポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブ」の冊子を作成し、市町村本部用1部、各単位団2部について各市町村本部経由で配布いたしました。ぜひご活用ください。

既にご覧になっている方も多いと思いますが、疑問点や確認したいこと、あるいは実践の中での問題やその解決策で悩んでいることなどがありましたら、県体育協会クラブアドバイザーの加藤裕之氏(TEL: 048-822-5171)までご連絡の相談をしてみてください。きっとよいアドバイスを受けられると思います。なお、県本部には冊子の残部が多少ありますので、必要な方は加藤氏まで同様にお問い合わせください。

## 編集後記

ブロック本部長会議では、それぞれの市町本部の抱える問題が話し合われました。とくに少子化が進む中、団員の減少は深刻です。団員増対策で効果のあった事例などありましたら、育成広報委員会までご連絡いただければ幸いです。

埼玉県スポーツ少年団事務局気付「育成広報委員会」

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-141 埼玉県自治会館内

TEL: 048-822-5171 FAX: 048-822-5174

E-mail: saita.maken@japan-sports.or.jp

